

臨床研究

「原発性免疫不全症候群患者の管理における感染予防の実践と副反応の実態に関する全国調査」

への調査協力について

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 内科 I 教授 今野哲

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

筑波大学医学医療系小児科 教授 高田英俊

[共同研究機関名・研究責任者名]

全国の病院診療科より、PID 患者が主たるかかりつけ医とすることが多い5つの診療科(内科・小児科・血液内科・リウマチ科・皮膚科)のうち、1年間のPIDの診療実績または過去のPID関連の予防接種副反応の経験が1例以上ある全ての機関

北海道大学病院内科 I では、標題の臨床研究に協力を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

原発性免疫不全症候群(PID)の患者様においては、感染症の発生は生活の質や生命予後を左右するため、医学的な管理においては感染予防が最も大切になります。一方で、感染予防に用いられる薬剤には副作用もあり、特にワクチンはPIDの種類によっては重大な副作用が起こることがあります。PIDには300以上の病気が含まれており、個別の患者様に適切な対応を行うためには、医療関係者に対する知識の普及が必要です。インターネット上の公開データベース(PIDJ)や診療の手引きの発刊などの取り組みがなされ、予防接種の予診表にもPIDが疑われる場合は接種を見合わせるための質問項目があります。しかしこれらの取り組みの結果、実際に国内の医療機関ではPIDの患者様に対して、適切な感染予防が実践できているのか、調査されたことはありません。全国のPID患者様のかかりつけとなっている医療機関における、それぞれの患者様に対する感染予防の実態を明らかにすることが本研究の目的となります。

② 研究対象者

北海道大学病院内科 I で診療された記録のある原発性免疫不全症の全ての患者様

③ 研究期間：実施許可日～2022年12月31日まで

④ 研究の方法

原発性免疫不全症候群患者の診療数について、各患者に対する感染予防の実態、および予防接種による副反応について全国から抽出された約 2500 の医療施設に書面を用いた調査を行われます。当院当科でかかりつけの患者様につき、上記の内容を記載の上、返送を行います。調査内容は筑波大学附属病院へ郵送され、同施設で集計、解析されます。

⑤ 試料・情報の項目 PID 患者様の背景、感染予防情報（予防接種ほかの実施状況）および予防接種で生じた症状の詳細

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者、問い合わせ先

情報提供元 内科 I 今野哲

情報提供元の連絡先：

北海道大学病院：〒060-8648 北海道札幌市北区北 1 4 条西 5 丁目

電話：011-706-5752（平日 9～17 時）

FAX：011-706-7899

メール：satkonno@med.hokudai.ac.jp

情報提供先の研究責任者：

筑波大学医学医療系小児科 教授 高田英俊

情報提供先の連絡先：

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

小児科 担当 城戸崇裕

電話：029-853-5635（平日 9～17 時）

FAX：029-853-8819

メール：pediatr@md.tsukuba.ac.jp